

平成26年度

一般社団法人 長野県助産師会

国際助産師の日

つながるいのち ~生まれるときから死にゆくときまで通して感じる、人と命のつながりの大切さ~

日時 平成26年6月29日(日) 10:00~15:45

場所 あがたの森文化会館 講堂

内容 ● 映画上映「**玄牝**」(92分) 河瀬直美監督

10:00~11:35 映画1回目 ※子ども連れ可

12:00~13:35 映画2回目 ※託児対応

● 講演・**鼎談** **命に寄り添う家族と医療の手**

13:45~15:45 内藤いづみ、きくちさかえ、池上 道子
(長野県助産師会会長)

● きくちさかえ **いのちの写真展**



講師 内藤いづみ氏

在宅ホスピス医 山梨県甲府市在住



昭和31年生まれ。昭和56年福島県立医大卒業。東京女子医大内科等に勤務。昭和61年から7年間、英国でホスピス研修。平成7年地元甲府市にふじ内科クリニックを設立。院長。在宅ホスピスケアの実践。

がん患者さんが痛みなく自分の暮らしといのちに向きあえるようサポートを続けている。

NPO日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。青少年協会理事長。

【著書】「あした野原に出てみようー在宅ホスピス医のノートからー」(オフィスエム)・「笑顔で「さよなら」をー在宅ホスピス医の日記からー」(KKベストセラーズ)ほか

講師 きくちさかえ氏

出産育児環境研究会代表、一般社団法人社会デザイン学会特別研究員(博士、社会デザイン学)。聖隷クリストファー大学非常勤講師。社会デザイン学会常任理事。公益社団法人誕生学協会顧問。

★星の社YOGA主催

自らの出産を機に、マタニティ・コーディネーターとして、1984~2009年までマタニティクラス、マタニティヨーガクラスの指導にあたる。民主党元法務大臣政策秘書を経て、現在は研究者、クリエイターとして、出産育児の当事者支援や研究、YOGAクラスでの指導を行っている。茅野市蓼科山麓で田舎暮らし。

【著書】「イブの出産、アダム誕生」農文協「お産のレシピ」学陽書房「マタニティ・ヨーガ安産BOOK」現代書館「卵子ストーリー」小学館「うまれるいのち、つながるいのち」実業之日本社「産むかもしれないあなたへ」NECメディアプロダクツほか

映画

げんびん
玄牝

一部紹介

あるがままに、命と向きあう人びとの物語。

それぞれの事情や想いを抱えながらも、妊婦たちはいきいきと輝きはじめる。そして、迎える出産の日。新たな命と呼応するように、彼女たちは声をあげる——「きもちいい」「あったかい」「ありがとう」。その様子を見守る家族や助産

師の想い、そして、生まれることなく消えてゆく命とも向き合う吉村先生の葛藤——現代に生きる私たちの強さと脆さ、喜びと悲しみがなймаぜとなって、ひとつに結ばれていく。

チケット
前売り **1,000円**

チケット問い合わせ先……長野県助産師会

松本地区 090-1868-9460(松葉) 塩尻地区 090-4463-2531(三村)

協賛 公益社団法人 長野県看護協会

後援 松本市・塩尻市・安曇野市・信濃毎日新聞社・市民タイムス・月刊イクジイ

託児申し込み先 Eメール:may5@dol.hi-ho.ne.jp TEL&FAX 0263-52-4778(朝倉) ※有料・人数制限あり